

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月25日

計画の名称	池田市における災害に強く安全で安心な公園・緑地づくり（防災・安全）													
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	池田市													
計画の目標	池田市内の都市公園においては、地域住民や公園利用者からの関心が高く、日常的に使われるレクリエーションの場、憩いの場及びみどりの保全だけでなく、安全面及び防災面など、様々な要望があります。 そのため、特に住民からの要望が強く、かつ避難地としての防災機能の向上が求められている都市公園として、五月山緑地をはじめとする市内16公園について、地域の要望にあった公園づくりを推進し、公園の安全性・防災性の向上を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		392	A	392	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H29末	H31末
1	五月山緑地の有効避難面積を拡大することにより、災害時における避難可能人口を7,200人から9,500人に増やす。			
	五月山緑地の広域避難地としての避難有効面積/市民1人当り避難有効面積（2㎡/人）	7200人	7900人	9500人
2	特に老朽化が激しい16公園について緊急にリニューアルを行い、住民が安全で安心して利用できる公園とする。			
	改築・更新が完了した公園数/老朽化が激しく緊急的にリニューアルが必要な公園数（16公園）	0%	82%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	池田市	直接	池田市	-	-	都市公園事業（五月山緑地）	園路・広場・休憩所等	池田市	■	■	■	■	■	218	3.09	-	
	A12-002	公園	一般	池田市	直接	池田市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	防災・バリフリなど	池田市	■						54		-
	A12-003	公園	一般	池田市	直接	池田市	-	-	長寿命化対策支援事業	公園施設の改築・更新など	池田市	■	■	■	■			120		策定済
										小計							392			
											合計							392		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市都市整備部公園みどり課にて事後評価を実施	令和2年度
	公表の方法
	本市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・五月山緑地の整備に伴い、広域避難地としての避難有効面積が増加したことにより、避難可能人口が増大した。 ・公園施設の改築更新が完了した事により、公園利用者の利便性・安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	池田市地域防災計画に位置付けされる一次避難地において、災害応急対策施設である耐震性貯水槽を設置することで、防災機能が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

池田市長寿命化計画の対象公園数を見直し、継続して改築更新を実施し、公園利用者の安全性や快適性の向上に努めていく。
五月山緑地については、行政主導の整備から官民連携による事業計画ヘシフトし、自然環境の保全と防災機能を兼ね備えた総合公園として、さらなる魅力向上を図る。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	五月山緑地の避難可能人数		
	最 終 目標値	9500人	平成28年度に実施した紅葉大橋基礎部のボーリング調査の結果により、工事車両が通行不可の判定となり、工事が実施できなかった為。
	最 終 実績値	7400人	
2	リニューアル実施公園数		
	最 終 目標値	100%	財源が十分に確保できず、実施数を見直した為。
	最 終 実績値	81%	